学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話（986）0221内線607
発行・編集責任者
名和　達彦
年間200円

七月号

平成元年度就職戦線

昨年同様売り手市場

サービス業に人気

大手企業へ集中か

七月に入り、就職戦線は中盤に突入。学内ではリクルート姿の四年生が目立つようになった。就職協定が昨年の三段階方式から二段階方式に変更された今年度も、売り手市場で学生側に有利と言われている。そんな中、富田伸一就職課長に「今の段階ではすべてが進行形で客観的な言い方しか出来ない」という前提の下で話を聞いてみた。

七月、就職戦線は中盤戦に入った。今年度の就職協定は、昨年度の三段階方式とは異なり、八月二十日の企業説明会及び、個別訪問の開始、十月二日採用内定開始というように二段階方式となった。この時期、就職部では業界研究会や就職指導を行っている。四年生は、就職協定の制約の元、個人レベルで各企業の本学OB・OG訪問をしている。この訪問は、各企業の感触をうかがい、さらにその後には、人事への連絡窓口となる可能性が大いにあるので非常に重要な意味を持っている。

ところで、六月一日までに四年生一六百九十九名中、八六・五％にあたる千四百七十名が就職部に進路要録を就職希望ということで提出している。これを集計したところによると、サービス業が三百七十四名の二五・五％でトップ。次いで三・六％の金融業、二三・四％の製造業、八・四％の商業、六・三％の教育・公務となっている。さらに細かく見ていくと、銀行を志望している者が二百五十名の一七％で抜きん出ている。その後に、電器（六・五％）、卸売り業（五・九％）、新聞・放送・通信業（五・七％）、運輸・倉庫（五・二％）と続いている。しかし、いわゆる大企業の志望者が志望通りに内定を取れないことも考えられる。また、国・都道府県の公務員試験の結果待ちの者もおり、今の志望職種と実際の内定とは当然違いが生じてくる。

今年度も昨年度と同様に、学生の売り手市場で学生側に有利に展開すると予想されているが、その中でも一般的に学生は都市銀、総合商社、JR、NTT等といった知名度の高く、広報力の強い企業に人気が集中する傾向がある。本学の学生もその例にもれず、知名度のある大企業の人気が高く、ブランド指向が見られる。

現在のような好景気の裏折には、知名度の高い大企業が本学を含めた学生を多数採用する。また、例年トップで三〇％を超える就職率の金融業に取ってかわり、今年度はサービス業が一番の人気となっているのが目につく。しかし、これはあくまでもこの春に四年生が第一に望した業種である。就職部では、売り手市場とはいえ、今後高倍率で内定を取るのが困難な新聞、放送などの業種や人気企業側の採用数が減少することもありうると考え、今のような好景気のうちも中堅企業や団体等との母年のパイプを忘れずにつないでいるという。これは、学生それぞれの力量に合ったよりがいのある職場が、よりよい就職の条件の一つであると考えているからであり、また学生にもそのことを訴えている。

輔仁会理事会

元年度予算承認さる

六月二日、北一号館二階の第一会議室において、輔仁会理事会が開かれた。同理事会では、大学をはじめとする各支部の教職員および学生理事の出席のもと、輔仁会予算を審議、予算に関してはすべて原案通り承認された。

昭和六三年度決算の場合、監事の本橋、佐倉両教授から、各支部の昭和六三年度収支決算書についての会計審査報告がなされた。そのなかで両監事は、大学支部に関しては前年度までに比較して、正確な報告の努力、改善のあとがいちじるしい点を述べた。しかしながお一部について以下の四点が指摘された。

一、不備の領収書があった。（支出内容が未記入のもの、収入印紙のないもの、発行者印のないもの、宛名・日付の不備）

二、預金利子が計上されていない団体がある。

三、六二年度決算の次年度繰越金と六三年度決算の前年度繰越金が同額でない団体があった。

四、会計報告書、決算書の提出が遅い団体や、不備のため再提出させた団体があった。

また平成元年度予算案に関しては、異論が出ないまま認められた。これによって激励金は連動部系、文化部系を問わず地方予選を勝ち抜き、全国大会に出場する者の所属する部に対し、出場者数分（一名につき五千円）を交付することになった。これは、激励金が昭和五四年度より現在まで同じ金額（一名につき四千円）であったために、時代に即さないのではないか、という考えによる。

また総務委員会から、収支決算書の支出の内訳を、品目別でなく日付順によって報告するようにしてはどうかという指摘があった。これは幾つ種類の品目を同時に購入する際に、その合計金額に消費税がかかると、これに対し当局は、消費税にどう対応するかという手引書をつくり、会計責任者に配布すると答えた。

同好会総会開かる

新役員昇格団体決定

五月八日午後五時より西二号館二号室にて同好会総会（以下同常）総会が開かれた。参加四十九団体中欠席四、委任一。総会ではまず、新役員が以下の通り発表された。（役職は後日発表）

○委員長
物三　土屋光敏　（地学研）
○副委員長
数二　佐藤晋平　（音　愛）
○書記
法三　笛井　仁　（速記研）
○会計
法三　土田美和　（絲竹会）
○企画
営二　岩田　洋　（鉄　研）
○渉外
史三　寺島庄行　（近代史研）

続いてシイクスピア研究会とキャンピングクラブの同好会昇格についての議論がとられ、両者とも賛成多数で同好会昇格が認められた。また同常は同好会規約第三十四条によって注意処分を発表した。処分を受けたのはキリスト教研究会と現代詩研究会で、その理由として同常は「同常役員としての業務の著しい怠り」「黎明館の）フロアー清掃の欠席」等をあげている。これに関し特に罰処分はないが、キリスト教研究会が一四〇〇〇円から一〇五〇〇円に、現代詩研究会が六〇〇〇円から四五〇〇〇円にそれぞれ予算が減少している。

その後総会は予算案の審議に入った。同常は予算案決定の基準に旧年度の活動報告書やフロアー清掃の実績等を挙げ、それに対し各同好会から異議が出なかったため、当初予算案は無修正で輔仁会理事会提出が決まった。

成城大学四大戦実行委員・佐野哲也さんの話

今年の四大戦は四十周年ということで、執行部は例年以上に気合いが入っています。四大学学生の交流が活発に行われ一般の学生の方にも楽しんでもらえる四大戦になるよう頑張っていますので、皆さん積極的に参加して下さい。期待しています。なお、四大戦に関する御意見、御希望等ございましたら、学習院大学運動部常任委員会を通じて連絡して下さい。よりよい四大戦になるよう、できる限り参考にさせていただきたいと思っております。

'89四大戦始動

受け入れ体制進む

成城大学

成城大学グラウンド

本年度の四大学運動競技大会（四大戦）は十月二十日開幕、二十二日までの三日間熱戦が繰り広げられる。会場となる成城大学では四大戦運営実行委員会を中心に着々と準備が進められている。今大会は四十周年の記念大会であり、これまでの四大戦の集大成が目指されている。また、これからの四大戦の出発点ともなるよう「ニュージェネレーションの四大戦」が基本方針として据えられている。

成城大学は神奈川県伊勢原市に総合グラウンドを完備しているが、今年の四大戦に関しては、世田谷にある成城学園敷地内のグラウンドが使用される。これは、一般種目にかけても参加する学生にとっての不便さを解消しようという運営面からの理由、ならびに交通事故を防ごうという安全面からの理由によるものだ。成城大学は小田急線の成城学園前駅から徒歩約5分のところにあり、朝霞市の老人ホームが近くにあること、例年不参加の団体が多いことを考慮し、今年は中止する運びとなった。また、大学キャンパスが会場となることで、大会が二層華やかになることが期待される。

今大会は四十周年の記念大会であるため、成城大学内でのキャンペーン活動にも力が入っている。文芸学部校舎には「四大戦まで残と〇〇日」を知らせるカウントダウンの表示板が掲げられ、学生の関心を高めようとしている。また、ポスターや横断幕も製作中という。

後夜祭は中止

成城大学が会場となる四大戦に後夜祭がこれまでの通例であった。しかし、今年は中止の方向で検討中（ディスクマンなど検討中）つきのアトラクションが用意されている。

これには四十周年を機に式典自体を見直そうという意味も含まれている。

しかし、閉会式で教職員永年勤続者表彰をはじめ各種表彰が行われるほか、豪華景品（ディスクマンなど検討中）つきのアトラクションが用意されている。

黎運委開かる

事務局長、学相から

五月十二日午後五時から同好会常任委員会室において、黎明会館運営委員会（以下黎運委）が開かれた。これは黎運委委員と事務局長の選出を目的として開かれたもので、委員長には松林千春さん（社会科学研究会）、事務局長には小笠原浩史さん（学生相談所）がそれぞれ選ばれた。

黎運委はここ数年間活動しておらず、事務局長職も個人的なってでき継がれていた。しかし、今年度は後継者が見つからず、黎運委事務局は前年度事務局長である荻本智久さん（能楽研究会）が継続してその職務を遂行するという異例の事態となっていた。そこで急ぎ黎運委が開かれたものである。

黎運委ではまず委員長を選出し、黎運委事務局の今年度の基本方針を確認したのち事務局長が選出された。慣例として、事務局長は独立四団体（学生相談所、学生放送局、輔仁会雑誌編集委員会、大学新聞社）から選出されるとあり、今年度は学生相談所から選出されることになった。また今後、連動部常任委員会、同好会常任委員会、独立四団体が事務局次長として事務局長をバックアップしていくことになった。

事務局長に選出された小笠原浩史さんは「仕事といっても学相の活動内容とさほど変わらないので、とまどいはありません。特に気付いたことは、黎運委の存在自体を学生が知らないことです。黎明会館は学生の自主管理が原則ですから、少なくとも入館している学生の規制が加わる可能性もありますね。とにかく学生の自主管理を徹底できる場物に、というのが当面の目標です。このままの状態が続くのであれば、来年からは、黎運委の存在自体を学生に知ってもらうよう努力したいと思っています。」と述べている。

明窓浄机

▼「たった一度のパーティーで何百万、何千万ものカネを手に入れてしまうなんて、庶民感情として納得できない」選挙に勝つためには、莫大なカネが必要なのだ」政治家と庶民との間の金銭感覚のズレが多くの人によって指摘されている。カネに対する認識のズレが、政治家と庶民との間でかなり大きくなってしまっているというのだ。このカネに対する認識のズレ、カネに対する当り前の水準のズレと言い換えられよう▼私たち大学生の間にもこのズレが存在しているように思われる。裕福な家庭に生まれブランド品を身につけて高級車を乗りまわしている人がいれば、明々の新聞配達で学費を稼ぎながら大学に通っている人もいる。同じ二万円の買い物をするとしても、彼らの二人が受ける感覚には隔りがあるに違いない▼内職をする母親を持つ者ならわかるだろうが、彼女らの賃金は極めて低い。労働省の調べによると、一日六時間弱、月二十日間ほど働く女性の収入は四万円余りだという。時間給に換算するとわずか三百四十三円だ。私たちのバイトの時給と比較すれば、この低さは一目瞭然だろう。私たちの中で時給三百五十円程度のバイトを引き受ける者が果たして何人いるとか▼ところで、現在の資本主義の世の中を否定するつもりは毛頭ない。人がよりよい生活を求める努力の積み重ねが、社会全体の繁栄を支えている要因のひとつであることは否定しがたいことだからだ。ひとりひとりの上昇志向がなかったら今のような社会にはなっていなかっただろう▼ただ問題にしたいのは、資本主義の社会において、富を得た者が勝者だとするならば、勝ち誇っている者があまりにも多すぎるのではないかということだ。勝者の陰には必ず敗者がいることを忘れずにいて欲しい▼今の競争社会は相撲の世界に似ている。どんな大きな力士も、どんな小さな力士も、同じひとつの土俵の上で勝負する。

豊崎光一教授（仏文科）六月十二日午前、胆のうがんのため死去。

享年五十三歳。昭和三十四年本学仏文科卒。本学大学院博士課程を四十一年に中退後、文学部専任講師となり、以来二十三年間、本学で教鞭をとってこられた。専門分野は十九、二十世紀文学及びフランス現代思想。主著として「砂の顔」、「ファミリー・ロマンス」等がある。近く「ロートレアモン全集」が遺作として刊行される予定。

すぐそこ　ボランティア編

ユウウツな試験さえ終われば、待ちに待った夏休み、もう計画をたてて、準備している人達も多いことだろう。

さて今号は、まだ何も計画をたててないという人に、こんな夏休みの過ごし方はどうだろう、ということで特集を組んでみた。

せっかくの夏休みに何もしない手はない。ぜひ利用してもらいたい。

ボランティア体験してみる

豊島区民センターには、区内のボランティア活動をまとめるボランティアセンターがある。そこでは夏休み期間中、新規参加者を募集するため「青少年ボランティア活動体験学習」を企画している。ボランティアには以前から関心はあったが、今まで参加のキッカケのなかった人に、実際にどんなものかを知ってもらう目的で二年前の夏休みからこの体験学習は始められている。

昨年の夏に行われた第二回体験学習には、百名募集のところに七十二名が集まった。参加者の内訳は、高校生の女子が四十名と全体の半数以上を占めている他、専門学校生、短大生、大学生、勤労者の参加者数を見ても それぞれ女性の占める割合が非常に高い。

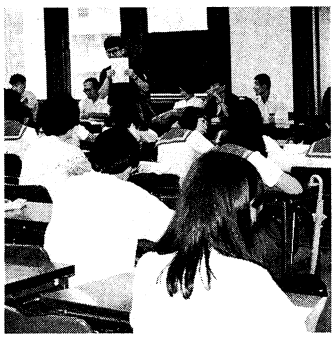
老人ホームでの活動風景

募集の広報活動は区広報紙上での紹介や、チラシを中学、高校、大学に配布することによって行われている。しかし大学生には、ほとんど伝わっていない。受け入れるのが難しいことが多いので、高校生以上に積極的参加を求めている。大学生は自由な時間も多く何をするにも有利な立場にあるので、今後、大学生の参加者が増加することも十分あり得るだろう。

昨年の参加者における体験学習後のアンケートを見てみると、「精神薄弱者とのコミュニケーションのとり方に難しさを感じた」「うーん、今の気持ちは参加したくないと思う。勉強会とか反省会とかにわざわざ出向くのが面倒くさい」といった、あらゆる意味でボランティア活動に携わるということがいかに大変かを痛間見させる感想も少数だがあった。しかし「今年の夏休みは○○をやった、というような印象に残ることをやろうと思ったので」「これからの高齢化社会を考え何かに役立ちたかった」「僕は人をある型にあてはめて見ていました。障害を持ちながらも生きていかなければならない子供達とその家族を今までより近くで見、知ることにより視野が今までよりひろくなったと思います」等、この体験学習に参加をすることにより充実感が得られ、有意義な時を過ごすことができたという内容の感想が大多数を占めていた。

ボランティアセンターでは、今年の夏休み体験学習の申し込み受け付けを七月十日の月曜日までとしている。三十を越えるさまざまな団体、施設等の内、自分に合った活動場所を希望することができる。希望が重なる場合は人数調整が行われることもあるが、去年は全員が第一希望の活動先に割り当てられた。

この企画は単純にボランティアに参加する人を増やすことだけにあるのではない。社会には障害を施設・団体等の活動内容によって中学生用の体験学習という形をとってはなく、若いうちから接する機会をつくることによって、彼らは生きているのだと自然に受けとめて感じられるようになってほしい、そういう願いがこの企画には込められている。



合同オリエンテーション

母子家庭の子供達がいる。大人や社会人になって、そういった人々を単に社会知識として理解するのもつ人や家族だけでは介護できない老人、親兄弟の代わりがほしい私たちの身近な社会にいて一緒に

施設・団体名	活動内容
たんぽぽ	肢体不自由児の遊びと生活を考えます。<8/18～8/20キャンプ> 毎週土曜、定期活動あり（14:00~17:00）
愛の家母子寮	納涼大会時の乳幼児の世話をします。8/26 15:00～21:00
豊島ボランティア連絡会ろばた	お年寄りの知恵や貴重な体験を学びます。7～8月、随時定例会あり。
特別擁護老人ホーム養浩荘	家庭で常時介護が必要な65歳以上のお年寄りを介護します。外出援助、リハビリ介助等。8月の納涼祭あり。
＊備考　35の施設から4例を抜粋	

連絡先　豊島ボランティアセンター体験学習係　郵便番号一七〇　豊島区東池袋一二〇―一〇　豊島区民センター内　電話（九八四）―九三七五

メンバー募集中！

ここでは一つ、ローリングバレーボールという障害者も健常者も一緒になって楽しめるスポーツを紹介してみよう。

ローリングバレーボールとは、盲人バレー（通称ゴロバレー）を基に考案されたもので、兵庫県リハビリセンターにおいて障害者と訓練指導職員が共同で開発した新しいスポーツである。

ルールは、前衛三人、後衛三人の計六人が、ネット下から床面まで三十五センチの低い空間でボールを転がし、打ち合って得点を競うというもので、障害の軽重や種別に関係なく参加することができる。又、この競技でボールを打ち返すという動作を行うことは、瞬発対応能力の促進や集団行動に対する力がつくなど、リハビリ的効果も十分期待されている。

連絡先
豊島ローリング・バレーボール同好会　電話（九八四）―九三七五

磁力　きみの　に、期待したい。

私たちは、日経グループの総合広告会社

［会社説明会のご案内］

■東京：9/4(木)・9/5(金)・9/6(土)　本社9F大会議室
東京都中央区銀座7-13-20
※時間は10:30～、13:30～、15:30～

■大阪：9/6(月)　日本経済新聞社・大阪本社
8F大会議室　大阪市中央区大手前1-1-1
※時間は13:30～、15:30～

コミュニケーション・ビジネスをリードする
Nikkeisha
株式会社日本経済社
本社／〒104 東京都中央区銀座7-13-20 ☎03(5412)0411(代)
札幌・仙台・横浜・新潟・長野・名古屋・大阪・千葉・横浜・名古屋・大阪・ロンドン・ニューヨーク

運転免許

夏の南房総で
短期間の合宿教習で免許が取れます!!

尚、7月8月の予約はお早めにお願いします。
日程・料金等はお問い合せ下さい。

⊙実地免除
⊙普通免許卒業まで短15日間
⊙運転免許ローン歓迎(6～24回払)

蓁々会売店にて

学習院大学指定
千葉県公認校グループ免許センター
（お問い合せ先：蓁々会売店）
〒105 東京都港区新橋3－21－2　江藤ビル4F〈新橋烏森口より1分〉
03-438-1900(代)

夏休みは

夏休み特集

レジャー編

星降る夜をあなたに

夏は星の美しい季節です。「星なんか興味ないよ」というあなたも、たまには夜空を見上げてロマンチストしてみませんか。

わざわざ星を見に遠出するなんて……、という人もいるでしょうが、星は家の近くでだって見えるのです。渋谷でも一等星ぐらいは見えます。まず家の近くで暗がりを探しましょう。もっとよく見たい、という人は川原や霊園、さらによく見たければ高尾山や奥多摩へどうぞ。要は、暗くて視界の広いところならよいのです。

さて、夏の星といえば有名なのは、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結んだ夏の大三角形でしょう。日本ではベガは織姫、アルタイルは彦星と呼ばれてますね。八月八日は旧暦の七夕、二人を探してみてはいかがですか。

星座なんてわからないよ、という人でも流れ星なら楽しめるのではないでしょうか。七、八月は流れ星の多い季節です。今年は、七月下旬から、みずがめ座、やぎ座、ペルセウス座などの流星群が現れます。みずがめ座流星群とやぎ座の流星群は、七月末から八月初めに極大となります。南天の低いところから一時間に十～十二個現れます。ペルセウス座流星群は八月十二・十三日が極大です。北東の空から一時間に三十個は現れるでしょう。十三日の明け方近くは、月もしずんで観測に最適です。

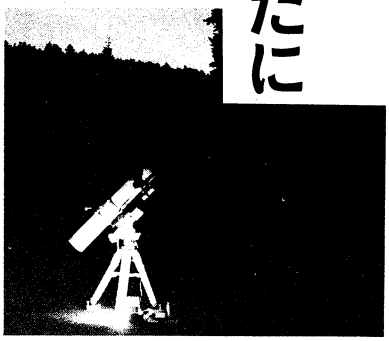
さあ、少しは星が見たい気分になっていただけたでしょうか。今すぐにでも見たい、という人がいたら、プラネタリウムはいかがですか。東京には六十以上のプラネタリウムがあるそうです。その中から三つ程紹介しましょう。

最初は渋谷にある五島プラネタリウムです。ここは、毎月プログラムが変わり、また「星と音楽のタベ」などの特別番組もあります。夏休みは無休ですから安心していけますよ。

二つ目は世田谷区立教育センタープラネタリウムです。新玉川線桜新町から徒歩で十分。土日と祝日しかやっていませんが、二百円でロマンチックに過ごせます。

三つ目は八王子市こども科学館。都下からだとちょっと遠いですが、プラネタリウムだけでなく、にでも、星を見に出かけてみませんか。

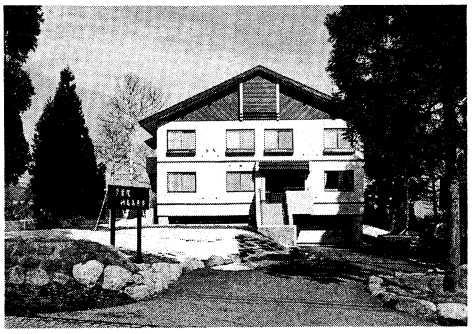
ここまで読んできて、星を見るのは簡単だ、ということがわかっていただけたでしょうか。別に星座がわからなくてもいいのです。外であおむけに寝てしまえば、もうそこには星の世界が広がっています。雨が降っていなければ、今夜



福島県浄土平にて

一度はおいでよ 校外施設

学習院には、六つの校外施設（沼津遊泳場、妙高高原寮、鎌倉寸心荘、八幡平松尾校舎、日光光徳小屋、蛇子沢小屋）が各地方にあるというのは、皆さんもご存じであろう。



学習院妙高高原寮前景

しかし、この施設、あるのは知っているが利用したことがあるという人は意外に少ないのではないだろうか。昨年度の利用状況をみても、各施設とも一時期を除けば空室十分ありという状態のようだ。

そこで、大学の管財部管財課にそのへんのところを聞いてみた。すると、やはり『校外施設が、学生に十分に活用されていない』という答えが、まず第一に返ってきた。せっかくの施設なのだから、どんどん利用してほしいという様子である。

また、これからの夏休みシーズンにおいての各施設の利用状況も聞いてきたので、紹介することにする。近年、一部改築した沼津遊泳場は高等科などの学校行事もあって、八月上旬までは利用不可。それ以降は、十分利用可能（中旬の利用の申し込みは早めに！）なので、海水浴旅行などに活用してほしい。日光光徳小屋は収容人員十九名と少ない。それと他施設と違って、食事は自炊、浴室もシャワーのみというのが、不便といえば不便である。利用状況は、八月上、中旬は利用者が多いそうだが、早めに予約すれば十分間にあう。グループで自炊しながら、奥日光を楽しむというのも、なかなか面白そうだ。

尚、鎌倉寸心荘は、ゼミ等の利用で、一般利用は認められない。また、蛇子沢小屋は、ワンダーフォーゲル部管轄なので、直接問い合わせてもらいたい。

これらの施設は共に、男女の寝室は別室、酒類も持ち込み不可など、校外施設らしい規則もあるので、行く前に、ちゃんと調べておこう。

紙面の都合上、これ以上書けないのが残念だが、校外施設にも魅力が沢山ある。夏休みの利用も十分できそうなので、お金は無いけど旅行したいというくらいなら、ぜひとも利用してほしい。贅沢にお金を使う旅行よりも、こちらのほうが面白いかもしれませんよ。

学習院 ビンゴ

君は“めじおん”を見たか

—関係者に聞く—

目白音楽祭が五月二十二日から六月十七日まで仮講堂特設ステージで行われた。昼休みにそのステージを見た方も多いことだろう。目白音楽祭も今年で第一六回を迎えすっかり定着した感がある。そこで今回は目白音楽祭を支える学生相談所（以下学相）と音系サークルの方々に話をうかがった。

—目白音楽祭の意義は

「音系サークルのために発表の場を与える、学生による学生のための音楽祭」。

〈学相〉

—目白音楽祭に参加する目的は

「音系団体の活動を一般の学生にアピールしたい」。（音楽部）

「今までしてきた練習の何％が発揮できるか、自分を試す場」。

〈スカイサウンズ〉「学生による自由闊達な活動の一部になれる」〈世界民謡研究会〉

—苦労したことは

「屋外は音が散ってしまう。照明が使えない。」〈フライングハウス〉「機材のトラブルが多いし、雨が降るとできなくなるのではないかという不安がある。」〈一般参加〉

—野外でやる事のメリットは

「気楽に通りすがりでも聞いてもらえるし、宣伝効果もある。」〈音楽愛好会〉「演っていて気持ちがいいし楽しい。」〈フライングハウス〉「オープンで爽やかなイメージを持ってもらえる。」〈世界民謡研究会〉

—目白音楽祭をより良くするには

「目白音楽祭のイメージ＝バンドという気がする。色々なジャンルの音楽をやった方白い。」〈音楽部〉「ステージがボロい。穴があいて危険。」〈フライングハウス〉

「椅子や机があれば昼食を食べながら聞いてもらえるのでは。」〈音楽愛好会〉

—学相側の意見は

「学相内でもいろいろ案は出たがオープンすぎる部と限られた時間ということで、現状以上のことは無理かもしれません。」

〈学相〉

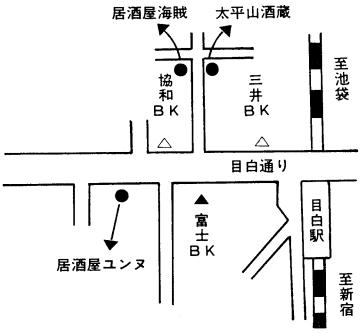
いろいろ問題はあるようだが、ともあれ出演された方、スタッフの皆さんお疲れ様。「お祭り気分でみんなが楽しめれば大成功」という参加者の一人の言葉が印象的だった。また来年もがんばって下さい。

演奏中の中南米研究会

太平山酒蔵
☎（950）3293

居酒屋ユンヌ
☎（950）6453

居酒屋海賊
☎（954）4229



打ち上げ・コンパはここっきゃない！

※居酒屋ユンヌは年中無休。
※太平山・海賊は日曜・祭日休み。
※各店とも、5～50名様位の宴会承ります。

新学生部長に聞く

就任の抱負

学生の要望に応えて

河野豊弘学生部長の任期満了に伴い、島野卓爾教授（経済）が四月一日より二年間、学生部長の任に就くことになった。そこで、学生部長になられた抱負などを伺うとともに、いまだ着工の気配を見せない法学部・経済学部教育研究棟についてもインタビューしてみた。

島野新学生部長

――まず抱負をお聞かせ下さい

基本的には学生の様々な要望を院の理事に取りついで、その要望をかなえるのが私の仕事だと思っている。学習院の学生がどのように過ごせば実りのある四年間が過ごせるか、これは学習院の卒業生としての自分の経験からも分かっているつもりだ。しかし、私の学生時代とはいろいろ違うだろう。そこで、毎年書いてもらっている学生生活報告書から学生の要望を調べている。学習院の相違は多少あるが、共通した要望も多い。そうした要望を少しでもかなえてきたい。

例えば、学生が朝校門をくぐった後どこに行くか、という質問に対して、図書館、研究室、部室、学食等が答えとして挙げられている。この中でも特に学食を私の二年間の在任中に、より広く、快適にしていきたい。

――夏期休暇に学食の二階のフロアーが改装されるという話もありますが

改装もよいが、私個人の意見としては、増設を希望している。その場合、その費用は院が負担することになるだろう。

――最近の学生をどのように思われますか

私は昭和三十五年からこの学習院にいるんだが、経済学部に関して言えば、ここ数年ゼミ、専門課程の出席率は非常によい、質問も多い。しかし、希望を言えば、学生自身が授業の中でも外でも自分の意見を述べられるようになってほしい。日本の学生は受け身的だ。私はアメリカや西ドイツでも教えていたことがあるが、学生は自分の考えを発言して、授業に積極的に参加していた。先生とともに学ぼうとする姿勢が見られた学習院大学の裏にある「馬場門」を出て、左に二、三分行くと、明治通りに出ます。その通りの向こう側、歩道に沿った植込に隠れて、都電の停留所があります。

今回はここ「学習院下」から出発することにしましょう。「チンチン！」。

「学習院下」を出ると、しばらく坂道が続きます。都電はその長い坂を乗りきるために、普段よりも幾らかスピードを上げます。その分揺れも激しくなりますが、いつものんびりとした都電とは違った雰囲気が味わえます。特に千登勢橋の下をくぐり抜ける時は、なかなかの迫力があります。橋を抜けると、すぐに「鬼子母神前」に到着します。「チンチン！」。

停留所を出て、左へまっすぐ歩いていくと、薄暗い木立が見えて来ます。これが鬼子母神の祭られている法明寺への参道で（参道にしてはかなり短い気もしますが）、歩いていると何となく心が和みます。秋になればきっと、この並木道も美しく彩られ、いい散歩道になるのではないでしょうか。

この鬼子母神というのは、もともと鬼神の妻であり、たくさんの子供を持つ母親でもあることから鬼子母と呼ばれたそうです。その性質は極めて凶暴で、他人の子供をさらっては、殺して食べていました。そこで仏（釈迦）が彼女自身の子供を隠して子供を失う悲しみを実感させ、それ以後子供を護る善神になったといわれています。日本では主に安産・子育ての神様として古くから祭られてきました。法明寺の他に、入谷の真願寺や千葉中山法華経寺の鬼子母神が有名です。入谷の鬼子母神は、「恐れ入谷の鬼子母神」で聞いた事がある人も多いと思います。

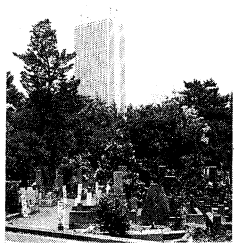
都電の窓から ②

学習院下～雑司ヶ谷

「チンチン！」。「鬼子母神前」を出ると次はすぐ「雑司ヶ谷」です。この停留所の近くには雑司ヶ谷霊園があり、そこには夏目漱石や泉鏡花、小泉八雲などの著名人も多く埋葬されています。

ただ、あまりにも敷地が広いので、いきなり行っても迷ってしまうかも知れません。ですから、管理事務所へ行って案内書をもらってきた方がいいでしょう。案内図には、霊園内の簡単な地図と、埋葬されている著名人の一覧表が載っており、それを見ればすぐに御参りしたいお墓の場所が分かって、大変便利です。また、この周辺には護国寺などお寺がたくさんあるので、時間があればお寺めぐりをしてみるのも良いかもしれません。

それでは、今回はこの辺で終わりにすることにいたしましょう。「チンチン！」。


雑司ヶ谷霊園

――今日はおいしいところともありがとうございました。

生活にもプラスになるだろう。

デスクの片隅

先日、自動車免許の試験に行ってきました。学校を休んで受付の三十分前に着くように行くと、もう二百人近くの人が列をつくっていました。

結局この日、四百人以上の人が免許を手に入れたようです。（もちろん私もその一人です）千葉県一県で四百人とすると、全国では……。

現在、二十五歳までの若い人による自動車事故が増えているそうです。免許を持っている若者が増えているのだから、当然と言えなくもないのですが、免許所持者の十五％にすぎない数の若者が、事故の三十％以上を起こしているのです。

学習院大学のみなさんの中にも、もう免許を持っている人や夏休みに免許を取ろうと思っている人が多いのではないでしょうか。自動車は便利だし、かっこいいものですからね。でも、自動車よりも、人間の命の方がずっと大切ですから、安全を心に留めて運転して下さい。私もがんばっていドライバーになるつもりですので。

学習院むかし昔

第二回

学習院でポルノ上映

昭和四十七年十一月二日、第三回大学祭において日活ロマンポルノが大学祭実行委員会（大実委）企画、映画研究会（映研）共催で上映された。上映されたのは「アクションからポルノへ」と銘打った「野良猫ロックシリーズセックスハンター」『八月の荒れた砂』『学生妻しのび泣き』「白い指の戯れ」の四本で、後の二本は成人映画である。今回は、当時本学でポルノが上映された経過とその上映がもたらした波紋について追ってみた。

社会的背景

同年一月、警視庁保安一課が猥褻物容疑で日活ロマンポルノを摘発して以来、当時の社会ではポルノ是非論が盛んに行われていた。この様な風潮の中、表現の自由を表明し大学祭でポルノを上映する大学が続出した。当時の資料によると早稲田・慶応・日本女子大等東京の十二大学で延べ三十本前後が上映されたという。本学もその例外ではなかった。

上映への曲折

同年十月二十四日、大実委企画・映研共催という形で十一月二日のポルノ上映が決定した。学外では翌二十五日映研がフジテレビ小川宏ショーに出演するなどマスコミ等で大いに騒がれたが、学内ではさしたる反応もなく大学祭を迎えようとしていた。

ところが十月三十一日、護光会なる学内右派団体とみられる団体有志により大学祭上映反対の趣旨のビラが学内に配られた。大学祭上映は「学習院の伝統・個性にしみをつけるものにほかならず、上映阻止のためには『血が流れても後悔しない』というのがその主張である。これに対し大実委の出委員長（当時）は大学祭の混乱を避けるべく、その夜護光会に対し上映中止の確約書を出した。

しかし翌二日の臨時参加団体総会で参加全団体がこれを否定したため委員長は確約書の無効を言明し、上映を「実力で守りぬく」方針を採択した。これに先立ち総会中、護光会は上映阻止には暴力行使を殺ぢ姿勢を崩さず「我々の相手は左翼である」と発言、それに対し大実委は翌二日午後、学内左派の阻止共闘系を含む「警備隊」を組織するなど、ここに至ってポルノ上映問題は学内左右両派の対立的様相をも見せはじめた。

上映当日

十一月三日午後二時半、映画は予定通り始まった。昼の部の二本は五時半終了まで何事もなく上映された。しかし夜の部のロマンポルノが六時に始まって二十分後突如として上映会場である西四号館入口に「警備隊」の一員であったはずの、赤ヘルをかぶり完全武装した阻止共闘系の学生三十余名（約半数が青山学院・明治学院等の学外者）が現われ、護光会とそれに囲まれたと見られる二十名余の学生と乱闘騒ぎを起こした。この突然の阻止共闘系学生の行動は「警備隊」の方針に反する行動であった。

その後両派は数度の乱闘をくり返したが、八時半ごろ学生当局が警察力導入の放送を流すと赤ヘル集団はシュプレヒコールをあげながら血洗いの池へ向かい、塀を越えて学外へ退去した。その際、二人の学生が後から追って来た護光会とその他三十名余の学生につかまり、暴行を受け負傷した。

一方この騒ぎの中、映画は予定通り上映され、八時五十分無事終了した。

※　※　※

以上が表現の自由に端を発し学内左右両派の対立、更には左派内部の分裂へと展開して行った事件の顛末である。何故護光会が暴力介入したかについては「単なる伝統・個性にしみをつけるなという意味で反対した」この機会に大学祭を破壊し従来の院祭の復活を意図した」など様々な見方がある。又、突然阻止共闘系の学生が行動を起こしたのは「今後自主規制という形で大学祭が成される事への危機感」によるものだという。結局この事件の根底には、学習院の現状に対する両派の不満があったといえよう。尚、資料として本紙第六一七号、朝日新聞昭和四十七年十一月二日朝刊及び当時のパンフ類を使用した。

社告

当社では、昭和三十八年から昭和六十一年まで発行された学習院新聞、学習院大学新聞の縮刷版を配布しております。御希望の方は黎明316までお越し下さい。

学習院大学新聞社

カーフェリー
海でゆく〈ひがし北海道〉

'89

パッセンジャープラン 学生片道 朝・昼・夕食付	人のみ	12,100円
	自転車付	14,200円
	原付自転車付	16,200円
	自動二輪付	18,300円
マイカープラン ドライバー含む 朝・昼・夕食付	3M未満	24,800円
	4M未満	33,000円
	5M未満	39,200円
	6M未満	48,500円

近海郵船株式会社
本社　東京都港区有明3 26 33号 秀和品川ビル ☎(03)447-6551(代)

お問い合わせ・お申し込みは
旅行代理店各営業所へ――●日本交通交社／北毋道ゆうゆう船旅クーポン
●近畿日本ツーリスト／のびのび船旅クーポン●日本旅行／DoDo船旅クーポン

TOKYO・KUSHIRO
北海道
スニーカー&バイク